

包 括 的 公 表

2023年4月～6月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

| No. | 発生場所 | 概 略 | 再発防止策 |
|-----|------|--|---|
| 1 | 病棟 | プレドニゾロン長期使用中の患者へ、5日間分を処方したが、それ以降の処方が行われず、内服中断となる。徐々に原疾患の症状が強くなり、原因を調べているときに、1か月程プレドニゾロン錠が中断されていたことが発覚した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・診療科内の定期検討会にて、ステロイド長期使用患者が、正しく処方継続されているかを、チェックする。 ・長期で使用するステロイド剤について、多職種への注意喚起になるよう、オーダーシステムにコメントを追加（「★ステロイド長期」のコメント）。処方カレンダーや薬袋にコメントを表示し、多職種に注意喚起を行う。 |
| 2 | 病棟 | 上腕のPICC 刺入部より出血があり、刺入部のテープの貼り替えを実施。刺入部のテープを剥がし、物品を取るためにわずかに目を離した間に、点滴チューブの重みでPICCが10cm程度抜けた。後日再留置を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・PICCの貼り替え時は、自然抜去を防ぐために、マニュアルに沿って、一旦仮止めで固定する。 ・PICCの固定貼り替えに関するマニュアルの手順を再周知する。 |
| 3 | 病棟 | PICCより点滴を投与。点滴終了後に訪室すると、点滴ルート内に血液が逆流していた。PICCが閉塞したため、後日再留置となった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・点滴中の患者は、点滴の状況や患者の状態を定期的に観察する。 |
| 4 | 外来 | 鎮静下で右上埋伏智歯抜歯術を施行。鎮静後、左右を間違い、左上顎へ局所麻酔、周囲歯肉の切開を実施。歯肉切開後、左右間違いに気づき、切開部を縫合、右側の抜歯術を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・手術直前に、執刀医、他医療者、患者の三者で、サインイン（患者名、予定術式などの確認）を行う。 ・施術側の頬にテープでマーキングをする。 |

| No. | 発生場所 | 概 略 | 再発防止策 |
|-----|------|---|---|
| 5 | 手術室 | <p>検査室にて緊急でPICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）を留置。PICCの先端にガイドワイヤーを進めた後、ガイドワイヤーを引いたときにガイドワイヤー先端が血管内で離断。血管内に遺残した。使用したPICCのセットは、通常検査室で使用するものとは違うタイプのセットだった。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・初めて使用する場合は、添付文書を必ず確認し、適切に使用する。 ・使用場所の限られた物品を検査室等に持ち出し、使用しなかった場合は、元の場所に持ち帰る。 |